

健康づくりと環境美化運動

啓発作品

作文の部 入賞者

環境問題

竹下 茜さん

(下東方)

学校の帰り道によく空缶や弁当のカスが捨ててあるのを見かけます。夏休みにクリーンアップ作戦で拾って歩いたのに、数日たつと又、あちこちにゴミが落ちている始末です。最近のジュース缶とかには、ふたが離れないようにしてあるし、アキ缶はクズかごに”と書いたりしてあるのです。いろいろと考えて少しでもよい環境にしようとする力している人がいるのに、ゴミを投げ捨てることに対して、何の罪悪感も抱かない人達を、私は悲しく思います。そして、そんな人達が身近に存在しているのですから……。

先日、友人と一緒に自転車で乗ってアメを食べていました。私がアメを渡すと、友人はその包紙をポイッと捨て、

何事もなかったかのようにアメを食べ始めました。私はびっくりしました。その友人は、アメのカスを捨てることを悪いと思っていなかったのです。私は一応、注意しました。彼女も自然環境について考えたことはあると思うし、自然を破壊することは悪いと思っ

ているはずですが、しかしそれは、森林の伐採やオゾン層の破壊、地球の砂漠化、そういう大きな問題のことであって、ゴミの投げ捨てなどとは足らない事だとかん違いしているのだと思います。地球規模の大きな問題を、ただの中学生に解決できるはずはありません。そのために努力をすること、例えば、フロンガスはなるべく使わないようにするとか、紙類などの資源を粗末に扱わないとか、そういった小さな努力はできるにしても、直接的な解決にはつながりません。私は、まず自分たちの身近な所の問題から考えてい

くべきだと思っています。

祖母から聞いた話では、マレーシアという国は大変美しく、道や公園にはチリ一つ落ちていないそうです。これは環境問題に国をあげて取り組んでいるからです。ほんの小さなゴミでも、道ばたに捨てれば、刑務所行きになってしまわうらしいです。日本でも、『ゴミを投げ捨てることは法律で罰せられている』ということですが、それを守らなかつたからといって訴えられるわけでもありません。つまり国民一人一人の意識の問題だと思います。『自分一人くらい、いいだろう』そういう気持ちの人が、日本には多いのではないのでしょうか。経済的な面では、日本は豊かな国ですが、精神的な面では、とても貧しい国だと私は思います。国際的な環境問題に取り組むには、まず自国の環境から整えるべきではないでしょうか。

※この作品は、平成四年に入賞されたものです。



ナスの料理

志道由美子さん

(下中小野)



夏野菜が豊富に出まわっています。なかでもナスは油と仲良しの野菜です。

三隅町特産の千両ナスを材料にした料理を作ってみました。

◇作り方

- ①ナスは、たて六つ割りにして油で揚げます。
- ②インゲン筋は、筋を取り二つに切って塩少々入れた熱湯でさっとゆでます。
- ③葱は小口切りにする。
- ④中華鍋にサラダ油を強火で熱し、ニンニクのみじん切り、シヨウガのみじん切りを入れ、さつと炒める。その中にツナ缶を汁ごと入れ炒め合わせる。

◇材料(4人分)

- ナス 6本
- インゲン 100g
- 葱 少々
- ニンニク
- シヨウガ
- みじん切り小さじ2
- ツナ缶(165g) 一缶
- サラダ油 大きじ1
- トウバンジャン 小さじ1
- しょうゆ 大きじ3
- 酒 小さじ1
- 砂糖 小さじ1

※無理にツナ缶でなくても、ブタ肉や合びき肉でも良い。